

HARLEM

SPIT'EM OUT! "it's absolutely raw"

- This paper gives y'all hip hop headz the real words from the real scene... -

12
Monthly Harlem Paper
December, 2007
Volume 98 Issue 12

feature interview

DJ HAZIME

今年もやはりこの方に締めくくって頂きます。そうです毎年カウントダウン担当、我らがDJ HAZIME! 来年の展望も語ってもらいました。

■まず、2007年はどんな年でしたか？

“NO DOUBT”に関しては、年明けから4月までは、ここ2年くらいと同じような流れだったと思うんですよ。ただ、G.W.を境に集客が1,000人以上の週がずっと連続していったんで、「G.W.で何がそんなに変わったんだろう」ってのはありましたね。それによって、更に「やっぱり“NO DOUBT”はスゲエなあ」ってリフレッシュできた感じが今まで続いているかな。

■お客さんの反応は？

全体的に良い感じですよ。一晩通して良い空気を保つてると思いますよ。5年位前と比べると、新譜に対する浸透速度と浸透率がだいぶ上がってるから、いつもクラブに遊びに来ている常連さんに対しても新しい曲を提供できてるし。もちろん、ベタにパーティーが盛り上がるような曲もガンガンかけてるから、お客さんの幅も広がった気がするんだよね。あとは、新譜の人氣が上がってきてる分、オールドスクールのウケが悪くなってきている感じはしますね。それと、今までオレとかTAIKIくんがかけないような4つ打ち系の曲をSAFARIがかけても、割とスーッと受け入れられて、ジャンルの部分でも幅が広がってるかなってのは感じるよね。昔から、HIP HOP DJはHIP HOPだけをかけるわけじゃなくて、色んなものをかけるのがHIP HOP DJだって言われてたけど、それをベースにした新しいHIP HOP DJの形が、“RED ZONE”と“The Finest”と“NO DOUBT”には見えるなって思いますね。

■土曜日に関してだけでなく、HIP HOPシーンをリードしていかなければいけないという使命感はありますか？

リードしてるとか背負ってるっていう気負いは、基本的には無いかな。そういうふう自分で背負い過ぎちゃうと潰れちゃうからね。皆がそう思ってくれるのはいいけど、オレ自信が先頭を切って何かをやるってのは今は考えてないな。ただ、日本のシーンの中で自分の出来る事はこれからも続けていきたいし、変えたいと思う部分は変えていきたいですね。土曜日に関しては、自分がやってるパーティーが一番面白いパーティーにしたいってこと。それが意味での使命感ですかね。それで、「土曜日盛り上がるからオレらも頑張るって盛り上げようよ」ってなってくれたら嬉しいですよ。比べられる対象にいることは、実際良い事だと思うし。唯一意識しているのはそこだけかな。

■改めて“NO DOUBT”を一言で表すなら、どういうパーティー？

ずーっと変わらず思っているのは、「その場にいる人全員が楽しいパーティー」を目指してることだけかな。新譜をかけてるから偉いとか、違うジャンルを上手くかけられるから偉いとか、そういうのは二の次だと思うし。お客さんが1,000人入っていたら1,000人が楽しいのが理想のパーティーだとずっと思っていて、そういう意味では今の“NO DOUBT”は理想に近いかも。なので、一言で表すなら「みんなが楽しめるパー

ティー」かな。他の曜日がこうだからとか、そういうのはあんまり思わないしね。向こうで何が流行ってるかとかも、あんまり気にしてない。流行りは知ってても、気にし過ぎてそれに捕われたくないんだよね。自分が好きじゃなかったらスルーする時もあるし、自分は好きじゃなくてもお客さんが盛り上がるんだっからかける事もあるし。それは全部、1,000人入っていたら1,000人を盛り上げるために、DJとしてやるべき事だと思ってます。

■来年は若手DJが台頭していきそうですね。

老舗は老舗で変わらない良さっていうのもあると思うんだけど、新しい商品だとか「あそこの店、種類がいっぱいあるよね」ってところにお客さんは行ったりもするわけじゃない。そういう状況に11年目から少し変わって行くわけだから、「新商品入りました」じゃないけど、若手のDJが並んだ時にお客さんに手に取ってもらえるように頑張りたい、ってとこだよね。お店側も、「こいつよく売れるな。もうちょっと入れてみようか」ってなるだろうし、「こいつは売れないから、うちの店にはもう置かない」ともなるだろうしね。来年から新しくなって、若手にも名前を売る機会というか、お客さんにアピールする機会が増えるわけだから、オレから見たら横一線の若手勢が、どれだけ「オレが一歩抜け出てやる」、「オレが先にブチ抜いてやる」って思ってるかどうにかかってくると思うんだよね。上から引っ張ってあげるんじゃなくて、横一線に並んでるヤツらの中から、どれだけボンと一人抜け出せるかが凄く重要。「それを意識してやれないだったら、お前ら一生若手だぞ」ってのは言いたいね。「今のポジションに甘んじてるんだったら、一生このままだよ」って。まあ、一人より二人、二人より三人抜け出てくれるのが理想だけど、一番になるうって思わなかったら多分そこまで出来ないとと思うし。あと、人より抜き出るためには、個性を出す事も大事だと思うから、そこを意識してやって欲しいよね。「あの人がこれをかけてるから僕もかけよう」じゃなくて、「あの人があの曲かけてるから、僕はこっちにしよう」くらいでもいいんじゃないかな。なんか最近は皆、イメージ的に右に倣え左に倣えみたいな感じがして。

■来年の展望は？

来年に関して言えば、気負い過ぎないようにしてるんだよね。皆がオレが中心でやってくって見るわけだから、それをオレが感じ過ぎちゃって、中途半端に「オレが支えてるんだ」ってなりたくないし。俺が意識し過ぎると、実際入ってくる若手にとっても良くないと思うから。だから、そういう部分はあまり考えずに、ただ「パーティーとして面白くしていこう」っていう責任感を感じるだけ。行き着くところはやっぱり、「1,000人いたら1,000人が楽しめるパーティー」で、基本は基本で変わらないから。でも、オレも土曜日を10年近くやって、「新しい土曜日」っていうのが出来る事に対しては凄くワクワクしてる。「どんなふうになるんだろう」とか「どんな面白い事をあの二人は持って来てくれる



んだらう」って事に対してはワクワクするし、それに刺激されて、オレも更に面白いことをやれる環境になったらいいなって思ってる。「1,000人いたら1,000人が楽しめる」ってのが前提で、刺激し合いながら毎週やっていきたい。DJ同士だけでなく、空回りしないようにそこにお客さんも引っ張り込んでやりたいな。オレにとってもいい機会というか、10年くらいやってるクラブでまた違うボタンを押せるって事は凄くいいなって思ってるからね。「土曜日はこう変わるんだ」「刺激し合って楽しくやっていこう」ってやっていけるのはいいんじゃないかなって思いますよ。プレイが急激に変わるわけじゃないけど、気持ち的には少し変わるからね。DJがエネルギーを発生させなきゃお客さんにも伝わらないってのは、前より露骨になってきたと思うし、大衆を相手にすればする程、人数が増えれば増える程、いかにDJがパワフルか、エネルギッシュか、楽しんでいる感があるかっていうのも出していかなくちゃってのは、今まで以上に心掛けていこうと思ってるかな。

■12月19日に発売される『HARLEM ver.X - HARLEM 10th ANNIVERSARY SPECIAL -』に参加されていますが、制作過程は？

SIMONを使うっていうのは先に決まってる、そこから曲を作り出したんだよね。SIMONの過去の作品にないテイストのものを作ってっていうのと、オレが過去に作った事のないようなものってのも意識して、それで辿り着いた先がインドだったと(笑)。で、曲もあり、SIMONもいて、「ここにハマるのはあの人しかいないでしょ」って感じでTinaをお願いして。だから、人選に悩むとかトラック作りに悩むってのは全然無かったかな。あと、コンピの中の1曲でも残る曲を作りたいっていうのはいつも思ってるんだよね。今っぽいバキバキの弾きもので、3ヶ月経ったら飽きられちゃうような、分かり易いクラブチューンみたいなものにはしたくなくて。

それと、SIMONに言ったのは、リリックのテーマを明確にして欲しいって事と、1バース

目から3バース目まででストーリーを作っちゃんと三段落ちで落として欲しいって事。何を言ってるか解からない曲は作りたくないっていうのは伝えましたね。やっぱりHARLEMのコンピレーションだし、SIMONもかなりHARLEMを意識したであろう、クラブの中での事を描写した曲になったんで、彼にとっても新しい感じの曲になったかな。あとはやっぱりTinaの歌がスゴイね。プリプロの時から凄かったんだけど、本番の録りの時が更に凄くて。ああいう本物のプロと仕事をする事によって、SIMONもかなり刺激を受けたんじゃないかな。あとはこのCDが売れさえすれば結果オーライってとこじゃないですかね(笑)。DISC 2のMIX CDに関しては、『HARLEM ver.2.5』をやってるので非常にやり難かったです(笑)。でも、曲を選んで思ったのは、DJでもラッパーでも、今現在も現役でやってる人たちの曲を自然と選んでるっていうか。不思議と、そういう人達の曲ってどうしても引っ掛かってくるんだなって。残る曲は残るし、残る人は残るって、それを凄く感じたんだよね。『ver.2.5』と同じになっちゃいけないと思いつつ、聴き易さをテーマに作ってみたんで、サラッと聴けるんじゃないかな。『ver.2.5』では結構自分で喋っちゃったんで、今回は喋らないようにしました(笑)。

■DJ HAZIME名義でのリリースの予定は？

来年3月にHARLEM presentsでオフィシャルのMIX CDがコロムビアから出る予定なんですけど、それくらいかな。あとは、ブログ(<http://blog.double-hard.com/>)をチェックして下さい。☺